



事務局長	記録者
	

## 令和3年度 第1回大潟コミュニティ・スクール委員会 議事録

開催日時 場所	進行・記録	出席者
令和3年5月19日(水) 18:00~19:30 大潟町中学校 会議室	進行 山岸 賢一  記録 新井 慎一	出席委員 ・長澤 英夫 ・井部 孝一 ・仁田 秀三 ・松岡 浩子 ・野池 康一 事務局 ・山岸 賢一 ・高橋 道代 ・柳沢 恵子 ・清水 雅之 ・小池 貴宏 ・石田 永 ・新井 慎一 ・小山 将 ・塚田 克俊 ・大瀧 明美 ・笠原 健 ・山田 恵子

### 議事内容

#### 1 委員自己紹介

#### 2 会長、副会長、事務局長選出及び挨拶

##### <長澤会長>

- ・平成24年から始まったこの会も10年目を迎えている。現在ややマンネリ化も心配されるところであるが、当初の運営の3年目以降軌道に乗ってきた。
- ・児童生徒に地域の思い・願いが伝わる会にしてほしい。
- ・新しい委員も入ってきた。新しい見方・考え方を次の10年の運営に生かしたい。

##### <高橋副会長>

- ・今後、議事内容の改革もありではないかと考える。
- ・子供たちにとっていい方向に向かう会になることを願っている。

##### <小池事務局長>

- ・初めての経験なので、わからないなりにしっかりと頑張りたい。

#### 3 議事

##### (1) 小学校<石田校長、新井>

##### 【学校経営方針等の説明】

- ・教育目標は「幸せな学校」とした。幸せな学校になるために、何をすべきか考えて、自主的・主体的に動けるような学校にしていきたい。すべての教育活動が幸せな学校の具現に繋がるように進めていきたい。その基盤は、人権尊重の精神と郷土愛と位置付けた。コロナ禍ではあるができることに大胆に取り組み、感動体験や本物体験を取り入れて、地域に開かれた学校づく

りを進めていきたい。

- ・いじめは絶対に許さないという強い姿勢で臨むが、いじめが起きた場合は、いじめを行ってしまう子、受けてしまう子それぞれの人権を守っていきたい。
- ・学力の向上に向けて、基礎基本の定着を図る。併せて、学習規律の徹底に取り組む。また、コロナ対策をしながら、教育の歩みを止めないように活動を進めていく。
- ・働き方改革に本気で取り組んでいく。当校の超過勤務の実態を受け止めて、職員が仕事へのマネジメント力を付けていけるように、まずは19時退勤から進める。また、職員のアイデアを取り入れて進めていく。保護者、地域から理解いただくように伝えていく。
- ・いじめ防止基本方針では、「いじめ類似行為」について、県の方針として追加した。SNS等で悪口を書き込んだ時点で加害行動としていじめ同様扱うことになる。保護者からも身近な問題として捉えてもらい、一緒になって解決に当たりたい。
- ・夢・志チャレンジスクール事業では、「ふるさと大潟に学ぶ各学年の本物体験・感動体験」「大潟の名人に学ぶ」の2つを核に取り組んでいる。地域の教育資源を生かすことを大切に、地域コーディネーターと学年の教員が夢やアイデアを語り合い、地域巡検に出掛ける。教員が地域を学び、子供たちと活動計画を試行錯誤し、毎年新しい構想を立てて進めていくのが潟小のどんどの学習の魅力である。今年度も協力をお願いしたい。
- ・年間行事では、日程、内容、参加者にコロナ対策を講じながら、教育活動の歩みを止めることなく実施していく。12月2日(木)は、午後の授業参観の後に、市の社会同和教育事業の「人権を考える講話会」の実施を予定している。差別やいじめのない社会を目指して一緒に考える機会としたい。

## (2) 中学校<野池校長、山岸教頭>

### 【学校経営方針等の説明】

- ・前竹田校長の思い、願いを受け止めて、教育目標「志高く自分の花を咲かせよう」、スローガン「誇りに思える学校を創ろう」を引き続き生かしていきたい。私自身のモットーは「生徒にとって希望の場所となる学校を創ろう」で、初めて校長になったときからの信念である。1か月校内をくまなく回り、生徒の自己肯定感を高めることが大切であると改めて感じている。
- ・今、実際に取り組んでいることの1点目は、職員と生徒の見取りである。校長室にこもらず、頻繁に授業や部活、土日の練習試合等、足を運ぶようにしている。そして、生徒ができたことや、やれたことを褒めて伸ばしたい。職員に対しては、若手からベテランまで指導力のある職員集団を育てたい。教頭の知恵を借りながら組織で対応することをベースとする。2点目は、自分の経験から若い職員に自分なりのノウハウを伝えることである。押し付けるのではなく、資料など提供している。職員が萎縮するような校長にはなりたくない。3点目は、学校の広告塔として、学校便りの作成、ホームページも含めて情報発信に努める。
- ・課題の1点目は、働き方改革である。中学は部活があり超勤が増える傾向があるが、超勤への共感的理解をしながら管理職としてできることを考えていきたい。2点目は、新学習指導要領全面実施、GIGAスクール構想の中で、確かな学力を育てていきたい。キーワードはICT

への対応である。3点目は、コロナ禍ではあるが、チャレンジの場を大切にしたいと考えている。一つとして中体連の大会の場を大事にし、コロナ対策をしながら、できることはやらせたい。学校行事では、がんばり遠足を大事にしたい。職場体験は未定であるが、皆様の力を借りて、地域と関われるようお願いしたい。

- ・いじめ防止基本方針では、計画的な未然防止、情報共有し組織で対応、情報モラル教育をしっかりやっていきたい。
- ・夢・志チャレンジスクール事業では、「夢の扉教室」「本物の授業」の2つを柱に取り組んでいる。夢の扉教室は障害者スポーツ関連の講話が中止となったため、他の講話を考えている。本物の授業では、地域の方を講師に郷土の文化や伝統を学んでいる。加えて、ダンス教室、昨年度も行ったジムリーナ体操教室も取り組みたい。ジムリーナ体験は地域の方も一緒にできるようにしたい。
- ・年間行事は、小学校同様にコロナ対策を講じながら、できることを進めていく。がんばり遠足は平日開催とする。体育祭は9月、音楽祭は今年度実施しない。

#### 【質疑】

<井部>

- ・コロナにより、大潟の子どもを育てる会の事業が昨年度はまったくできなかった。子どもに一番身近な組織として、何かできないかご指導いただきたい。

<清水>

- ・どこも苦慮しているのが現状である。今年はなしというところが多い。少人数でできることをしていくしかない。できる方がいればオンラインなど使っているところもある。

<井部さん>

- ・いつまでこの状態が続くのか。昨年度も今年度も、組織、計画があるのに、何とか一つでも行きたい。

<野池>

- ・下越、中越から、上越でもコロナが発生してきている現状がある。

<石田>

- ・教育活動を止めるわけにはいかない。場合によっては大胆にやる判断もしたい。感染が出たら学校は全力で守ることを前面に出していきたい。地域の方から学校の教育活動を見ていただく機会を生み出していきたい。

<井部>

- ・学校に行けず様子も分からない。是非、教育活動を見る機会をお願いしたい。

<高橋>

- ・最近「ヤングケアラー」という記事をよく目にする。18歳以下の子が、下の子の面倒を見たり、介護したりしなければならない。それから、コロナ禍の収入減によって、行きたい学校を妥協したり、やめたりしなければならない。このような記事を見ると切ない。大潟の小・中にはいるのか。大型連休明け、自殺者の増加傾向があるとも聞いた。全体として、家庭環境の変

化が学力低下に結び付くなど、学校生活において今までと違う傾向はあるのか。

<山岸>

- ・「あれもだめ、これもだめ」と昨年度過ごしている分、あきらめ、意欲が沸かない、モチベーションが高まらないなどの面はあると思う。今年は何かできるのではないかというスタートを切っているので、張り切ってスタートしているのではないかと思う。生徒及び家庭環境が心配な場合は関係機関と連携しながら対応する。

<長澤>

- ・コロナに関しては、むやみに出歩かないなどの対応は必要ではないか。ワクチンの接種によって段々と進んでいく。コロナの問題も、ヤングケアラーの問題も、国全体で取り組む大きな問題である。

- ・小学校、中学校とも議題について承認

(3) 保・小・中連携

- ・小・中一貫教育に関して、代表は中学校長、副代表が小学校長であることが確認された。
- ・大潟区教育研究会に関して、保育園から中学校まで繋いで、区の子供を支えていることが、大潟区の特色であることが確認された。

<長澤>

- ・連携はどの程度進んでいるのか。

<石田>

- ・上越は、併設型である。4小1中のようなところもある。また、1つの小学校が2～3の中学校へ行くこともあり、中学校区間の連携が行われているところもある。
- ・中1ギャップの解消を目指して、挨拶運動や区の便りなどを取り組んでいるところがある。

(4) その他

- ・規則、歩み、関係図を基に、学校と地域の連携を確認

4 事務連絡

- ・今後の予定等を確認